

日本製紙クレシアのESG/SDGsマトリックス



ESG	ISO26000 7つの中核課題	ESG重要項目	主な施策	目標項目	KPI	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
G	組織統治	コーポレートガバナンス	SDGs経営の推進	・中期経営計画2025の達成と長期ビジョン2030年達成 ・企業価値向上施策の実施 ・社内浸透の推進	・中期経営計画2025の達成と長期ビジョン2030年度達成				4.4					9.1			12.8						17.17	
			リスクマネジメント	・BCP管理 ・データセキュリティの強化	・BCPの強化 ・データセキュリティの適切な管理の徹底						5.5		7.a						12.8 12.4 12.5	13.1 13.2 13.3	14.1 14.2	15.1 15.2	16.5	17.17
			DX推進	・DX推進体制の充実	・DX認定制度取得 ・システム導入による受注業務の効率化										8.3	9.1								
S	公正な事業慣行	公正な取引の遵守	法令遵守	・法令遵守の徹底	・各種階層別研修及び継続的な教育				4.4														16.5	
			サプライチェーンマネジメント	持続可能なサプライチェーンの構築	・持続可能な調達	・持続可能な調達システムの構築		2.1										12.2 12.7	13.1 13.2 13.3	14.1 14.2	15.1 15.2	16.5	17.17	
	人権	人権	人権の尊重	・人権デューデリジェンスの実施	・人権教育（啓発及びハラメント教育）の実施										10.2 10.3								16.5	
			労働慣行	人的資本経営の推進	企業価値向上による愛される企業づくり	・従業員のエンゲージメントの向上	・同業種におけるエンゲージメントサーベイ平均値以上のポイント獲得	1.2 1.4	2.1						8.5									
	労働慣行	ダイバーシティ&インクルージョン	多様な人材の活躍推進	・働きやすい環境の整備	・社員のライフステージに応じた処遇の改善、評価制度の見直し ・コミュニケーション向上の機会創出 ・男性育児休業取得の促進	・社員のライフステージに応じた処遇の改善、評価制度の見直し ・コミュニケーション向上の機会創出 ・男性育児休業取得の促進	1.2 1.4			4.4	5.1 5.5			8.5 8.8		10.3								16.b
			人材育成	能力開発及びリスキリング	・階層別研修の拡充 ・学習機会の創出	・階層別研修の拡充 ・学習機会の創出 ・資格取得制度の充実				4.4					8.8									16.b
			従業員の健康と安全	従業員の健康と安全	・有給休暇取得率の向上 ・健康経営の推進	・有給休暇取得率70%以上 ・健康診断事後措置の徹底 ・喫煙比率減少への取り組み	1.2 1.4	2.1	3.8 3.a	4.4	5.5			8.5		10.3								16.b
			消費者課題	消費者志向経営	消費者志向経営の推進	・消費者志向自主宣言 ・お客様満足度の向上	・消費者志向自主宣言の実施 ・年に1度のお客様アンケート実施												12.7					
	消費者課題	消費者課題を解決する商品の提案	ウェルビーイング視点での商品開発と拡大	・QOL向上に貢献する新しいヘルスケア商品の開発 ・衛生環境の維持と拡大を目指した環境対応商品の開発 ・家事負担軽減アイテムの拡販	・QOL向上に貢献する新しいヘルスケア商品・サービスを2030年までに20件以上展開 ・衛生環境の維持と拡大を目指した商品・サービスを2030年までに10件以上展開 ・家事負担軽減アイテム販売目標の達成	3.3		5.4	6.6 6.b		8.5	9.1		11.6	12.8 12.a								16.b	
			環境配慮型商品の開発と拡大	・環境配慮型商品の開発と拡大	・環境配慮型商品・サービスを2030年までに20件以上展開 ・販売目標の達成	3.3 3.9	4.7	5.4			8.3	9.4		11.6	12.5 12.8	13.1 13.2 13.3	14.2	15.1 15.2	16.b	17.17				
			公正なマーケティングと広告	公正なマーケティングと広告	・商品パッケージや広告における公正性の担保 ・商品の安全性と透明性を担保するための情報開示	・全社員へのeラーニング実施と部門毎の研修実施 ・ホームページでの商品基本情報の開示			4.a	5.4						12.8				15.2			17.17	
			商品の品質と安全性	独自基準の順守と品質管理の強化	・商品ライフサイクルを通じて安全性を追求	・新規使用材料及び薬品のSDS入手100% ・商品安全分析試験実施 年10件以上 ・ユーザーからの商品問い合わせ（化学物質の不使用・不含有）の回答100%			3.3 3.9							9.1 9.4		12.4						
	コミュニティへの参画 及びコミュニティの発展	地域社会活動	リサイクルへの取り組み推進及び啓発	・資源回収の強化	・商品使用後の資源回収 ・生産資材の資源回収										9.1 9.4		11.6 11.a	12.4 12.5	13.2	14.1	15.1		17.17	
			地域コミュニケーション	・工場周辺の地域活動への参加 ・工場周辺の環境整備 ・イベントの開催や参加、協賛	・地域活動及び環境整備への参加（各工場各年1回以上） ・イベントの開催や参加、協賛（年4回以上）																			17.17
			災害・防災対策	・災害時の支援 ・防災アイテムの備蓄	・支援体制のシステム化 ・防災アイテムの管理													11.5 11.b						
E	環境	カーボンニュートラル	温室効果ガスの削減	・直接排出する温室効果ガス排出量削減 ・生産における総エネルギー原単位の改善 ・CO ₂ 削減 ・海運と鉄道輸送の実施 ・パレット納品の拡大	・温室効果ガスを2013年度比で2025年度までに25%、2030年度までに45%削減 ・生産における総エネルギー原単位を前年比1%改善 ・物流効率改善により2022年度比でCO ₂ を2023年までに35.3トン削減 ・2024年度までに海運と鉄道輸送開始する ・パレット納品を50%まで引き上げ							7.2 7.3					12.4 12.5	13.1 13.2 13.3	14.1	15.1				
			省エネルギーの推進	・大気汚染物質の削減 ・エネルギー代替の推進 ・省エネルギー施策の見える化	・2018年度比で、大気汚染物質を2025年度までに5%、2030年度までに10%削減 ・エネルギー代替の推進年度目標の設定 ・省エネルギー施策年度目標の設定						7.2 7.3							12.4 12.5	13.1 13.2 13.3	14.1	15.1			
		環境配慮型商品の開発と拡大（再掲）	・環境配慮型商品の開発と拡大	・環境配慮型商品・サービスを2030年までに20件以上展開 ・販売目標の達成	3.3 3.9	4.7	5.4			9.4		11.6	12.5 12.8	13.1 13.2 13.3	14.2	15.1 15.2					17.17			
		水の管理	排水水質の改善	・水質汚濁物質の削減	・2018年度比で水質汚濁物を2025年度までに10%、2030年度までに15%削減								6.3 6.b											
		生物多様性	人と自然の共生	・森林認証材の活用継続	・森林認証紙の採用					6.6							12.4 12.5	13.1 13.2 13.3	14.1	15.1			17.17	
廃棄物削減と再資源化	廃棄物削減と再資源化	・生産拠点における産業廃棄物の最終処分量を維持 ・廃プラスチックの排出抑制・再資源化の促進と情報開示	・廃棄物2%以下を維持する ・2020年度比で廃プラスチックを2030年までに売上高当たりの排出量を45%削減 ・再資源化率99.5%以上を維持する						8.4						12.5		14.1	15.1						

※日本製紙クレシア長期ビジョンで掲げる「10年後の姿」および中期経営計画2025の重点課題に基づいて、ESGの観点から主な施策とKPIを設定し、SDGs169ターゲットをマッピングしています。当該表は、ESG/SDGsコンサルタント・笹谷秀氏の監修によって作成されています。この整理は、今後の当社における政策の進展と社会の変化に応じてアップデートしていきます。